

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	プログラミング基礎	科目名	ITプログラミング				科目コード	G6503A1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位		
担当教員名	岩田 君昭	履修グループ	3D(MP/SP)				授業方法	演習		
実務経験の内容	プログラマ、ディレクターとして遊技機の開発会社に22年間勤務。ソフトウェア開発と、開発全般のディレクション業務に従事した。これら実務経験をもとに、制作手法やスケジュール管理などの話を交えながら授業を進める									
学習一般目標	本校では、IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)が提唱し、企業で人材戦略のために広く利活用されているiCD(iコンピテンシ ディクショナリ)を参照し、「企業現場で遂行される実際のタスク(業務)」をベースとして本校独自の「タスク・専門スキルモデル」を構築し、それをもとにカリキュラムを構成している。 科目「ITプログラミング」では、アプリケーション開発においてプログラマが遂行する4つのタスク「モジュール分割」「モジュール論理設計」「プログラミング」「テスト」の遂行に必要なスキルの習得を目指す。									
授業の概要および学習上の助言	モジュール論理設計の設計書に記述された処理手順を理解し、それに基づいたコーディングが行えるように演習を実施する。また設計書の作成もできるようにしていく。授業後半では、データアクセス技術を用いたデータベースプログラミングを学び、CRUD操作のコーディングを行う。最終課題の実務システム演習では、初級PGの「タスク」であるモジュール論理設計、プログラミング、単体テストの仕様作成、実施の総合演習を行う。本科目ではウォーターフォールモデルを基本とする開発工程を理解し、1年前期の「プログラミング I」で学んだプログラミングに必要な基礎知識やスキルを活用して、各開発工程の成果物に基づく実習課題に取り組んでほしい									
教科書および参考書	必要に応じて授業内で仕様書等を配付する									
履修に必要な予備知識や技能	「プログラミング I」「2Dゲームプログラミング I・II」「ゲームエンジンプログラミング」で学んだプログラミングに必要な基礎知識									
使用機器	各自の個人所有パソコンを使用する									
使用ソフト	Visual Studio 2022、C# SQL Server									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2/4	モジュール論理設計の設計書を理解・作成でき、設計書に基づいたコーディングができる								
	1/2/4	データベースへのアクセス技術を理解し、CRUD操作のコーディングができる								
	1/2/4	テスト仕様書に基づいて、ホワイトボックステストとブラックボックステストが実施できる								
	3/5	専門知識や技能を修得するために自ら継続的に学習する								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解			30					30
		2.思考・判断			20					20
		3.態度			10				15	25
		4.技能・表現			5					5
		5.関心・意欲			5				15	15
	総合評価割合			70				30	100	
評価の要点										

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	授業中に出題する課題、課題解決型授業に出題する課題に対する提出物の完成度を判断する。 ただし、提出物を自ら作成しなかった場合や期限までに提出しなかった場合は、原則として評価しない。
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	C#の復習	講義・演習	
第2回	WPFの使い方1	講義・演習	
第3回	WPFの使い方2	講義・演習	
第4回	WPFの使い方3	講義・演習	
第5回	データアクセス技術を理解する1(データプロバイダ)	講義・演習	
第6回	データアクセス技術を理解する2(データプロバイダ)	講義・演習	
第7回	データアクセス技術を理解する3(データプロバイダ)	講義・演習	
第8回	データアクセス技術を理解する4(データプロバイダ)	講義・演習	
第9回	データアクセス技術を理解する5(データプロバイダ)	講義・演習	
第10回	データアクセス技術を理解する6(データプロバイダ)	講義・演習	
第11回	データアクセス技術を理解する7(データプロバイダ)	講義・演習	
第12回	実務システム演習	講義・演習	
第13回	実務システム演習	講義・演習	
第14回	課題解決型授業1 プログラム演習	遠隔授業 実施時期:1期(5/16～ 5/31)	
第15回	課題解決型授業2 プログラム演習	遠隔授業 実施時期:3期(6/16～ 6/30)	